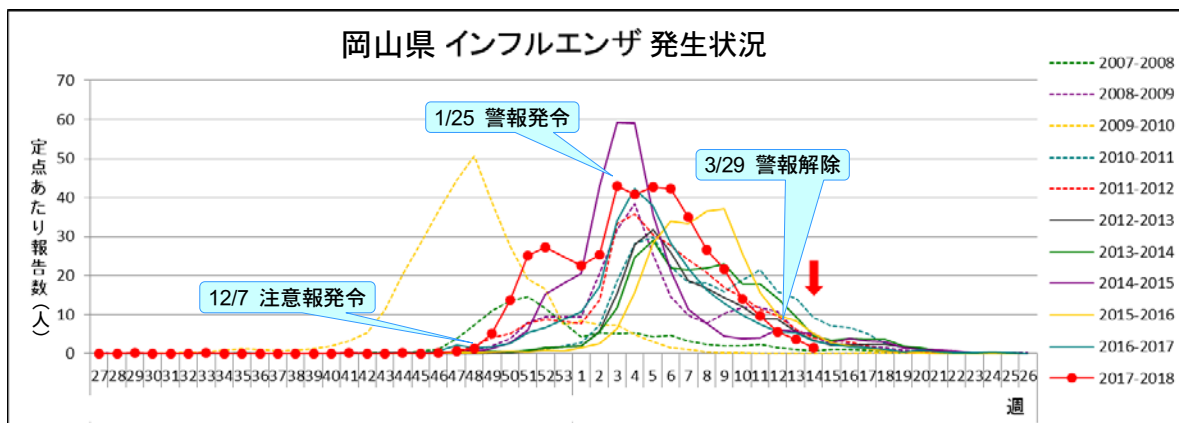


インフルエンザ週報 2018年 第14週 (4月2日～4月8日)

岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で131名（定点あたり1.56人）の報告がありました。（84 定点医療機関報告）
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業は、ありませんでした。
- インフルエンザによる入院患者3名の報告がありました。



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、県全体で131名（定点あたり3.63 → 1.56人）の報告があり、前週より減少しました。岡山県は、ひきつづき『インフルエンザ注意報』を発令し、広く注意を呼びかけています。地域別では、美作地域（2.10人）、備北地域（1.67人）、岡山市（1.64人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、ほとんどの地域で患者が減少しています。

流行のピークは過ぎ、患者は減少してきていますが、『外出後や食事前の手洗いを徹底する』、『人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用する』、『十分な睡眠をとる』など、ひきつづき感染予防に努めましょう。また、症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。

[インフルエンザ Q&A \(厚生労働省\)](#)

**◆インフルエンザは、まだ流行がつづいています。
ひきつづき感染予防に努めましょう。**

【 予 防 】

- * 外出後は手洗いをしましょう。アルコールを含んだ消毒剤で手を消毒するのも効果的です。
- * 人混みでは、マスクを着用しましょう。
- * 十分な睡眠をとり、バランスの良い食事を心がけて、抵抗力をつけましょう。
- * 室内では加湿器を使うなど、適度な湿度（50～60％）を保ちましょう。

【 かかったかな? という時には 】

- * 早めに医療機関を受診しましょう。
- * 水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう。
- * 周りの人にうつさないように、[『咳エチケット』](#)を心がけましょう。

1. 地域別発生状況
前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	131	↓	備 中	患者数	18	↓
	定点あたり	1.56			定点あたり	1.50	
岡山市	患者数	36	↘	備 北	患者数	10	↓
	定点あたり	1.64			定点あたり	1.67	
倉敷市	患者数	21	↓	真 庭	患者数	3	↓
	定点あたり	1.31			定点あたり	1.00	
備 前	患者数	22	↗	美 作	患者数	21	↓
	定点あたり	1.47			定点あたり	2.10	

【記号の説明】 前週からの推移
 ↑：大幅な増加 ↗：増加 →：ほぼ増減なし ↓：大幅な減少 ↘：減少
 大幅：前週比100%以上の増減 増加・減少：前週比10～100%未満の増減

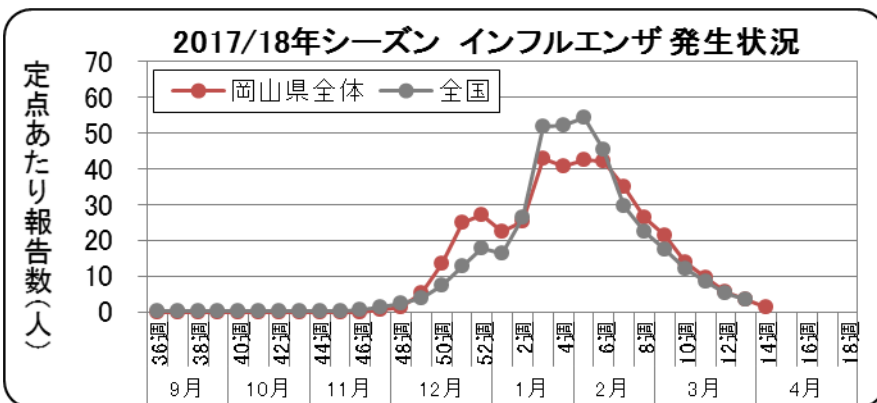
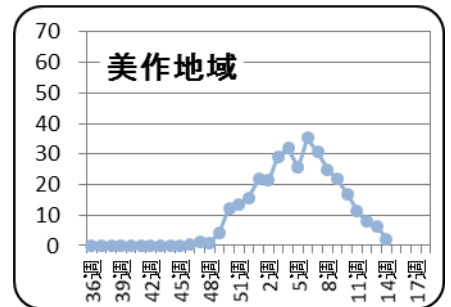
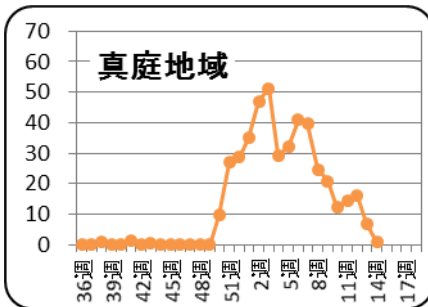
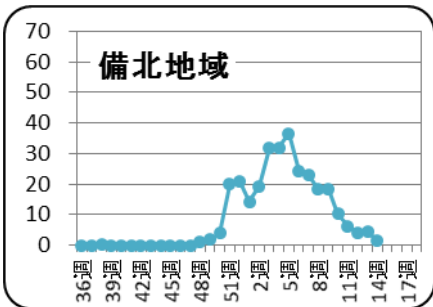
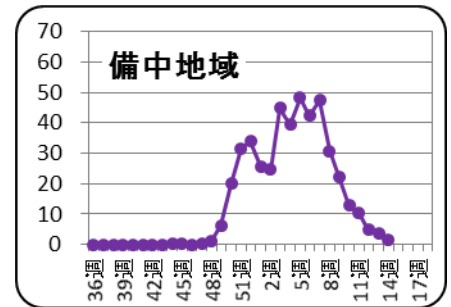
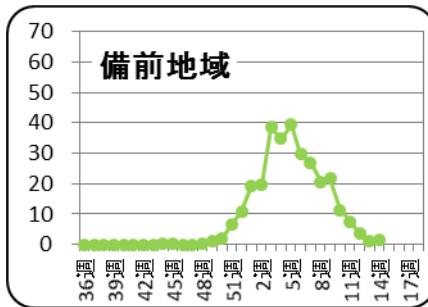
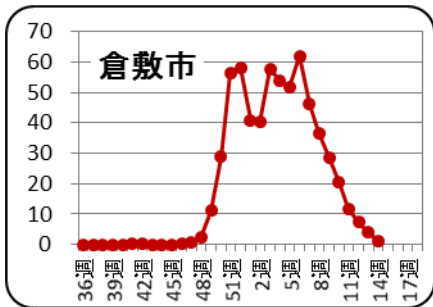
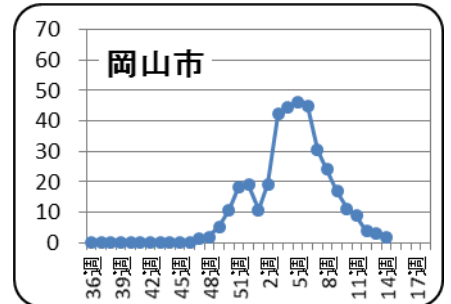
インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10以上 30未満

レベル1	報告なし
基準値	基準値
0< 10未満	0

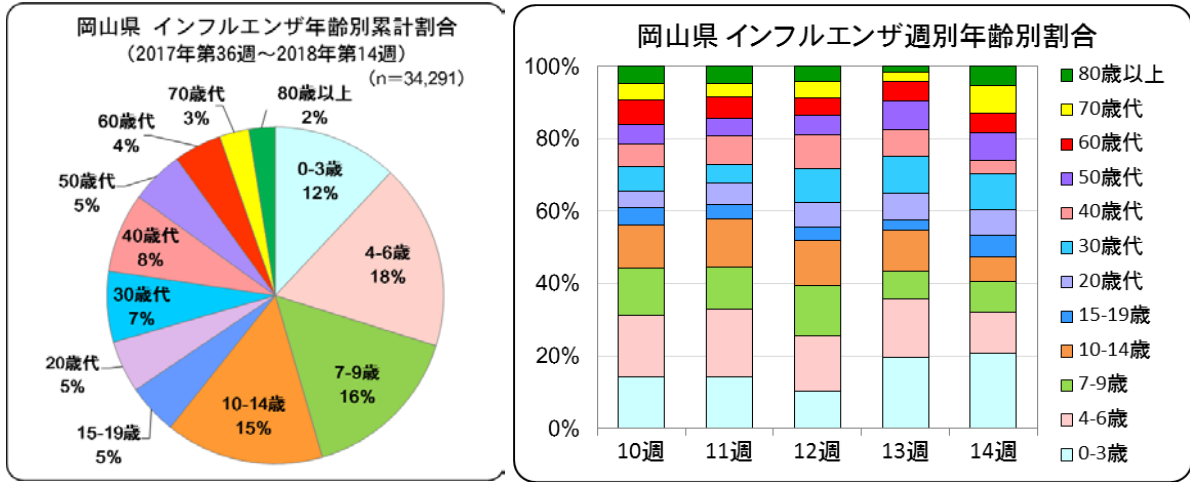


全国集計第13週(3/26～4/1)速報値によると、全国の定点あたり報告数は3.39人となり、前週(5.35人)より減少しました。都道府県別では、新潟県(12.90人)、秋田県(10.74人)、山形県(10.13人)の順で定点あたり報告数が多くなっており、全47都道府県で前週の報告数よりも減少しました。

[インフルエンザの発生状況について](#)
(厚生労働省)

2. 年齢別発生状況

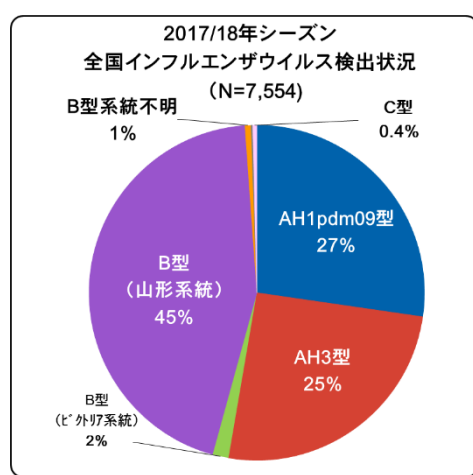
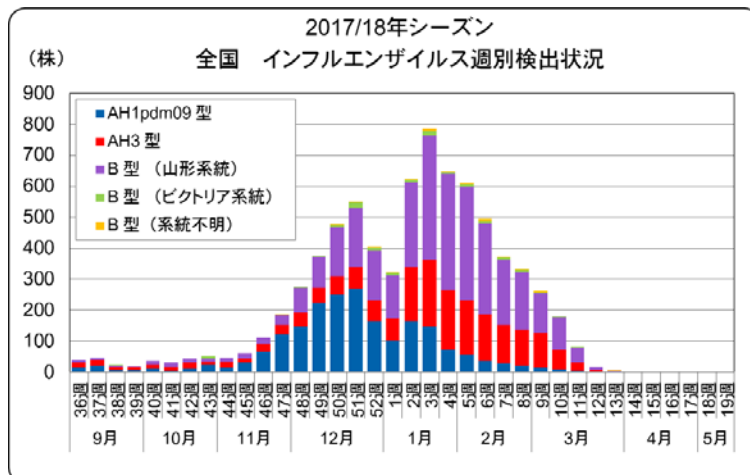
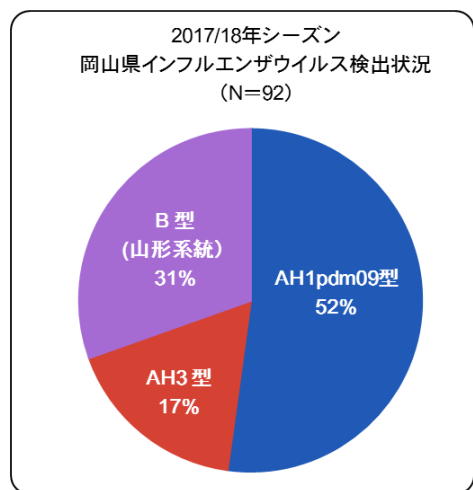
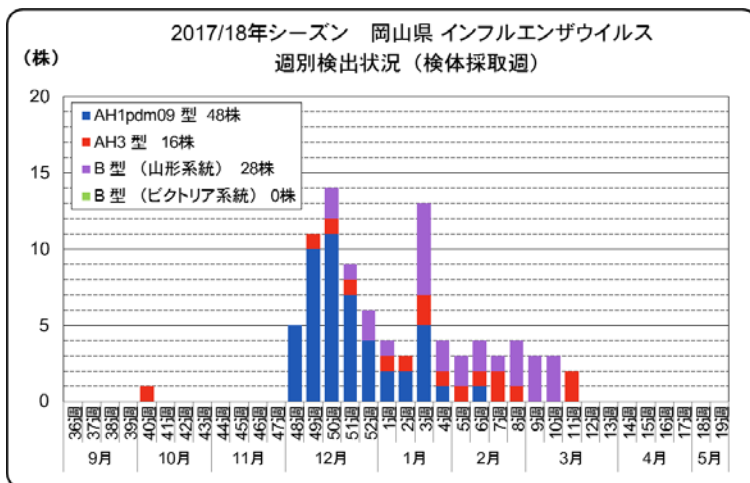
今シーズンの年齢別累計割合は、4-6歳 18%、7-9歳 16%、10-14歳 15%の順で高くなっています。



3. インフルエンザウイルス検出状況

第14週、環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、ありませんでした。今シーズン、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは92株で、その内訳は、AH1pdm09型 48株(52%)、AH3型 16株(17%)、B型(山形系統) 28株(31%)となっています。

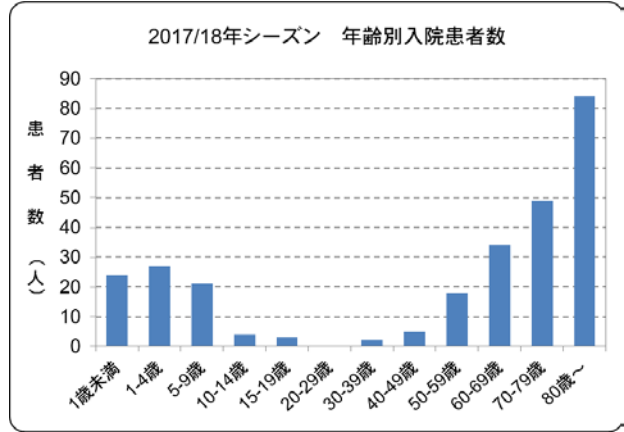
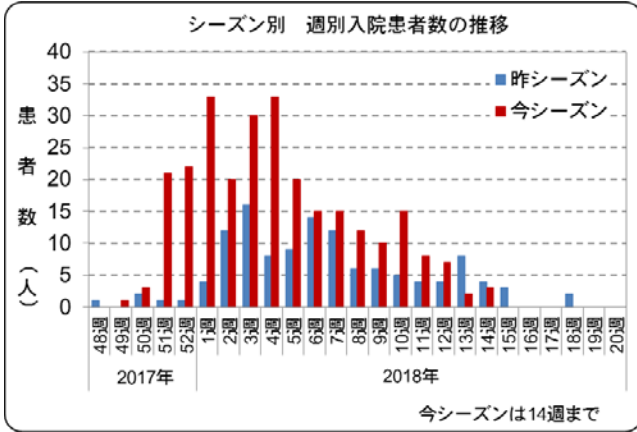
今シーズン、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09型 27%、AH3型 25%、B型 48%〔山形系統 45%・ビクトリア系統 2%・系統不明 1%〕となっています。今シーズン初めから多数検出されていたAH1pdm09型は、第52週(12/25～12/31)以降減少傾向にあります。代わってAH3型とB型(山形系統)の検出が増加しています。(4月10日現在)



5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、3名（60～69歳 1名、70～79歳 1名、80歳以上 1名）の報告がありました。今シーズンの入院患者は、昨シーズンよりも多い状況です。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【第 14 週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数										1	1	1	3
ICU入室*													
人工呼吸器の利用*													
頭部CT検査(予定含)*											1	1	2
頭部MRI検査(予定含)*												1	1
脳波検査(予定含)*													
いずれにも該当せず										1			1

* 重複あり

【2017年9月4日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	24	27	21	4	3		2	5	18	34	49	84	271
ICU入室*		1							1	3	9	4	18
人工呼吸器の利用*												1	1
頭部CT検査(予定含)*	1	3	3	2			1			5	6	19	40
頭部MRI検査(予定含)*	1	5	5	1			1			2	1	5	21
脳波検査(予定含)*		6	2										8
いずれにも該当せず	22	17	13	2	3		1	5	17	27	34	63	204

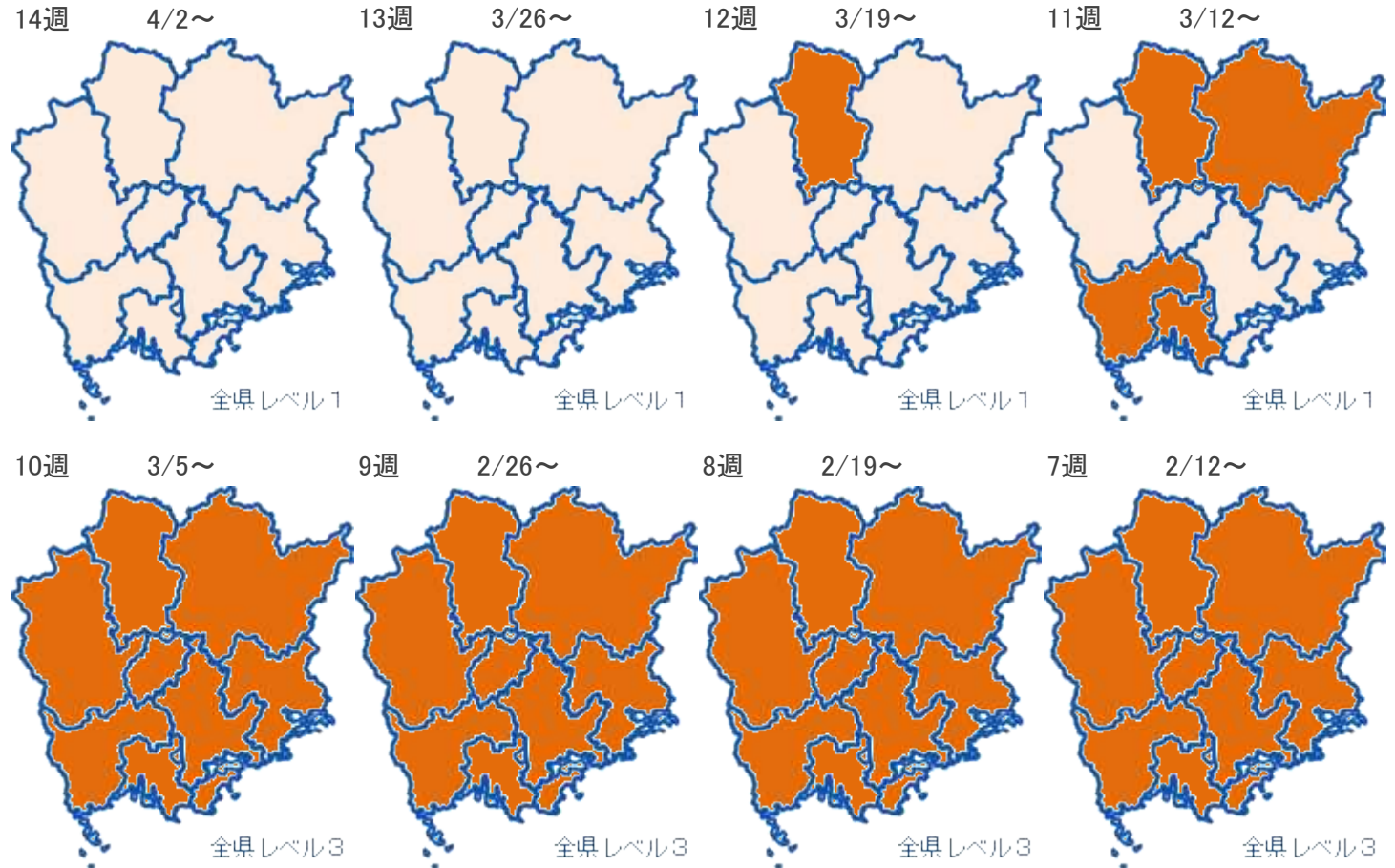
* 重複あり



岡山県地区別 インフルエンザ感染症マップ 2018年 14週

2018年4月12日

9:37:41



インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。